

おもな内容

- ・ 初心にかえり、新たな「学校文化づくり」を
- ・ 第3期群馬県教育振興基本計画の策定
- ・ たくさん話そう みんなの心の中
- ・ 私の学校経営(トリプルスリー)
- ・ 地区別研究協議会
- ・ 校長会この一年
- ・ 郡市校長会の動向
- ・ 校長室から

群馬県小学校長会

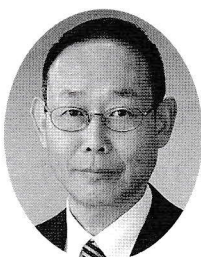
会 報

平成31年1月22日 第208号
 発行 群馬県小学校長会
 会長 山口和良
 〒371 前橋市文京町2-20-22
 -0801 群馬県小・中学校校長会事務局
 TEL 027-223-7158
 編集 群馬県小学校長会
 広 報 部
 印刷 有限会社 アート印刷

新しい年を迎えて

初心にかえり、新たな「学校文化づくり」を

群馬県小学校長会長 山口和良



「平成」の幕を閉じる節目の年を迎えました。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、学校には「隠れたカリキュラム」なるものの存在を指摘されることがあります。校門から玄関に入った時、あるいは廊下を

歩くと感じる、いわばその学校の「空気」です。「校風」として、児童の日常の生活が醸し出しているものだと考えられます。

一方、組織としての学校は、教育目標を定め、意図的計画的に教育を進めています。その長年の積み重ねの結果として、他の学校には真似できない「児童の中に育成された力」もあります。

「全校集会が始まる時、自ずとシーンと静まる」「すれ違ふと自然にあいさつが交わされる」「先生も子どもも掃除に一生懸命に取り組む」「トイレのサンダルがそろっている」。他愛のない事柄ばかりですが、私は、「校風」と「意図的な教育」を融合させて、これができる学校を夢見て校長になりました。こういう集団であれば、仲間を支援する人間関係を築き、困ったり悩んだりした時、仲間同士で支え合う方法を生み出していけると考えたからです。

昨年10月、全連小函館大会に参加し最も有意義だったのは、各校長が、学校づくりへの夢と希望、強い情熱を抱いていると知ったことです。自身を振り返ると、日々目の前に起こる様々なことの対応に追われ、夢や理想、情熱を忘れがちな自分がいます。

私たちは、誰も夢や希望を持って校長選考に臨みました。全会員が初心にかえて自校の経営への夢や希望を確かめ、学校独自の「伝統・校風」を基盤に未来に向けた営みを地道に実践し、児童の「生きる力」を育てること、即ち「新たな『学校文化づくり』への挑戦」を目指すことを祈念し、年頭の挨拶といたします。

第3期群馬県教育振興基本計画の策定

群馬県教育委員会教育長 笠原寛



謹んで新春のお慶びを申し上げます。5月から新元号となる特別な年を迎え、校長先生方におかれましては、学校運営の更なる充実に向け、決意を新たにされていることと存じます。

近年の社会経済情勢を見ると、人口減少の加速化と人口構成の変化に加え、急速な技術革新やグローバル化の進展等により社会全体が変容し、また、家庭環境の多様化による子どもの貧困や地域間格差等の課題も顕在化している中で、教育をめぐる状況も大きく変化しています。

こうした中、平成29年3月には小学校の学習指導要領が改訂され、学びの質が重視されることとなり、平成30年6月には国の第3期教育振興基本計画が策定され、今後5年間の教育政策の目標と施策群が示されました。

こうした状況を踏まえ、県政の最重要課題の一つである、群馬の未来を担う人づくりを着実に推進するため、教育分野の最上位計画として第3期群馬県教育振興基本計画を策定します。これまで以上に学校と地域が連携・協働し、子どもたちが予測困難な未来をたくましく生きる力を育み、誰もが自己の可能性を高め、豊かな人生を送り、主体的に社会と関わることができるよう施策の基本的な方向性を定め、新年度から具体策に取り組んで参ります。施策の効果的な推進には校長先生方のリーダーシップが欠かせませんので、御協力の程よろしくお願ひします。

結びに、皆様の御健勝と益々の御活躍を、そして全ての子どもたちにとって実り多き1年となりますことを祈念し、新年の挨拶といたします。

たくさん話そう みんなの心の中

群馬県小学校長会副会長 **天笠 広史**



このタイトルは、本校の道徳の授業の先生と子どもたちの「合い言葉」です。昨年度から道徳の研修に取り組んでいます。先生方は、今後、道徳がどうい

う方向に進んでいくかを理解して進めています。子どもたちはそういったことは全く分かっていません。そこで、先生と子どもたちで「共通の目標をもとう」ということでこの合い言葉をつくりました。授業では、道徳の回数を示すとともに、この合い言葉を大切にしながら教科としての道徳に取り組んでいます。

学校経営の基本を「凡事共有・凡事徹底」としてしています。これもその一つです。徹底できないのは、凡事共有ができないことが原因だと考えています。

そこで、いろいろなことをできるだけ共有できるように取り組んでいます。道徳の授業の進め方も一枚のリーフレットにまとめ、共通理解を図っています。詳しくは、群馬県研究所連盟双書144集で紹介する予定ですので、ご高覧いただけたら幸いです。



私の学校経営 (トリプルスリー)

群馬県小学校長会副会長 **星野 孝文**



私の勤務する沼田東小学校は、戦後、沼田小学校から分離独立し70年になります。県立沼田特別支援学校と隣接しており、3・6年生を中心とした総合学習や

図書委員会の読み聞かせ、運動会等様々な交流活動が20年以上も継続しています。また、学校支援センターの充実により、年間延べ200名以上の保護者や地域の方に行事や学習ボランティアでお世話になっているのも本校の特色の一つです。

理想とする学校は、下のトリプル3の達成です。

1 目指す学校像

- ①子どもが明るく元気に通える学校
- ②保護者が信頼して任せられる学校
- ③地域が誇りにできる学校

2 目指す教職員像

- ①子どもに夢や理想をもたせる教職員
- ②子どもの個性や能力を伸ばす教職員
- ③保護者、地域、同僚から信頼される教職員

3 目指す子ども像

- ①「ひ」人の気持ちを感じ取り、行動する子
- ②「が」学力向上に向け、頑張り通す子
- ③「し」心身の健康を考え、生活する子

「現状維持では、後退するばかりである」(ウォルト・ディズニー)を全職員で認識し、業務1割改善を合い言葉に、保護者や地域と連携して、子どもが明るく元気に生活できる魅力ある学校を目指し、日々邁進しているところです。